

- 88) ドナー機関: WHO/SEARO (regional office for South-East Asia)
実施先: 東南アジア諸国
プロジェクト内容: 食品安全性向上のためのプロモーション。ポスター、小冊子の作成配布。
- 89) ドナー機関: WHO/WPRO (regional office for Western Pacific)
実施先: 東太平洋地域
プロジェクト内容: 食品安全性向上のためのプロモーション。ビデオの作成配布。
- 89) ドナー機関: WHO/WPRO
プロジェクト内容: ウェブ上の食品安全性に関する研修。また、セミナーの開催。
- 90) ドナー機関: FAO/ESNS
実施先: バングラデシュ
実施期間: 2003年5月～2005年5月
プロジェクト内容: 食品管理の強化。法規の見直し、食品の監査の向上のための教育を行ったもの。
- 91) ドナー機関: FAO/ESNS
実施先: ブータン
実施期間: 2000年6月～
プロジェクト内容: 食品安全性向上のための政府関連組織の見直し、法規改正の提案を行っている。現在も続行中。
- 92) ドナー機関: FAO/ESNS

実施先： 中国

実施期間： 2004 年後期より 2 年間。

プロジェクト内容： 食品安全のための残留農薬と汚染の試験、監視体制の強化。

93) ドナー機関： FAO/ESNS

実施先： モンゴル

実施期間： 2002 年 6 月～2004 年 10 月

プロジェクト内容： 輸入食品の安全、品質の管理体制の強化。検査官の教育、研究所設備の強化、スタッフの教育に力点をおいた。

94) ドナー機関： FAO/ESNS

実施先： タイ

実施期間： 2003 年 12 月～2005 年 10 月

プロジェクト内容： 輸出用生鮮果実と野菜の SPS 準拠の強化。

95) ドナー機関： FAO/ESNS

実施先： タイ

実施期間： 2004 年 6 月～2006 年 2 月(完了予定)

プロジェクト内容： コーヒーの品質向上。カビ、マイコトキシンの減少をめざし、GHP 準拠の教育、オクラトキシン-A(OTA)の監視、分析の教育を行う。

96) ドナー機関： FAO/ESNS

実施先： ベトナム

実施期間： 2002 年 9 月～2005 年 5 月

プロジェクト内容: コーヒーの品質向上と OTA 汚染の防止。カビ付着防止法の確立、重要管理点の同定、乾燥条件の最適化、OTA の管理監視のための GAP、GMP、HACCP などの開発。

97) ドナー機関: WHO/WPRO

実施先: ラオス、ベトナム、フィリピン

プロジェクト内容: 食品安全確立のため、汚染の監視の援助(ラオス、ベトナム)、食品汚染に関するどんな情報が入手可能かの検証(フィリピン)を行った。

98) ドナー機関: WHO/WPRO、アジア開発銀行

実施先: ベトナム

プロジェクト内容: 食品に起因する病気の監視の強化。

99) ドナー機関: WHO

実施先: カンボジア、中国、ラオス

プロジェクト内容: 食品安全の現状の見直し、政策の練り直しの援助。中国政府の食品安全体制の見直し。

100) ドナー機関: WHO

実施先: ラオス、ベトナム

プロジェクト内容: ラオスの食品関連法規の見直し、ベトナムでは新法規が承認された。

101) ドナー機関: WHO

実施先: ベトナム

プロジェクト内容：食品安全教育材料の開発と実施。実施は管理者、厨房での取扱者、生産者、売買人などを対象に行われた。

102)ドナー機関：WHO

実施先：中国

プロジェクト内容：食品衛生情報の管理、情報共有の教育。中国の食品安全性及び今後の強化法につき WHO 及び他の国際機関の援助により会議が持たれた。

103)ドナー機関：WHO/WPRO

実施先：フィリピン

プロジェクト内容：学童への食品安全教育を進める試みを行った。

104)ドナー機関：WHO

実施先：インドネシア

プロジェクト内容：バンダアチェでの津波被害の後、食品安全に関する調査を行った。インドネシア政府はこれを基に食品由来の病気のリスク軽減策を講じることが出来た。

105)ドナー機関：WHO、FAO、OIE

実施先：マレーシア

実施期間：2005年7月4日～6日

プロジェクト内容：専門家によるコンサルテーション。ヒトの健康と生鮮食料品の生産、流通、マーケティングに関する法令による管理。特に鳥インフルエンザに焦点を当てる。

106)ドナー機関：FAO/ESNS、FAO/農業部門

実施先：タイ

実施期間：2005年9月14日～16日

プロジェクト内容：生鮮野菜、果実のGAPについての研修会。

107)ドナー機関：FAO/ESNS

実施先：ミャンマー

実施期間：2005年後半

プロジェクト内容：食品安全、品質の向上の包括的な援助。

108)ドナー機関：FAO/AGS

実施先：ミャンマー

実施期間：2005年後半

プロジェクト内容：植物油の加工技術、品質確保の向上。加工工場の建設、食物油の基準設置も含む。

109)ドナー機関：FAO/ESNS

実施先：パキスタン

プロジェクト内容：SPS 関連法案、動植物検疫システムの見直し。現状初期準備段階。

110)ドナー機関：FAO/ESNS

実施先：パキスタン

プロジェクト内容：生鮮果実、野菜の安全性と品質の向上。現状初期準備段階。

111)ドナー機関：FAO/ESNS

実施先：スリランカ

プロジェクト内容：食品安全性と品質の向上のための教育。現状初期準備段階。

112)ドナー機関：FAO/ESNS、Regional Office for Asia and Pacific

実施先：アジア諸国

プロジェクト内容：コショウ品質の向上の要請を受ける。現状検討段階。

113)ドナー機関：FAO、WHO(資金は STDF 提供)

実施先：アジア、太平洋地域低所得国

実施期間：2005年～

プロジェクト内容：食品基準の開発、リスク分析体制の確立を含む。各国独自の基準づくり、Codex 基準の採用、WTO の関連合意に基づくこれらの動きの必要性の認識を徹底するために、実施モデルを示しながら進めるもの。

114)ドナー機関：FAO/AGSF、AFMA (Association of Food and Agricultural Marketing agencies in Asia and the Pacific)

実施先：アジア地域(詳細の記載なし)

実施期間：2005年末

プロジェクト内容：インド、ネパール、パキスタン、中国、フィリピン、タイ、ベトナムでの調査結果をふまえ、農作物流通経路の安全性と品質保持、安全性、品質向上の農家側へのメリットにつき研修会を開催予定。

115)ドナー機関：FAO、WHO

実施先： クロアチア

実施期間： 2004年7月5日～7日

プロジェクト内容： 東南ヨーロッパにおける各国の食品安全の戦略開発に関する研修会開催。その必要性、ガイドラインの策定、厚生省、農務省間の更なる協調、他の国際機関との協調によりいかに成果を上げるかに焦点をあてている。

116)ドナー機関： FAO

実施先： ハンガリー

実施期間： 2004年9月6日～8日

プロジェクト内容： 国の食品安全戦略の開発に関する国際研修会の開催。

117)ドナー機関： FAO/Sub-regional Office for Central and Eastern Europe

実施先： セルビアモンテネグロ

実施期間： 2004年9月

プロジェクト内容： 農作物の品質管理の各国基準の調和に関するセッションの開催。

118)ドナー機関： FAO/ESNS 及び Legal Service

実施先： 東南ヨーロッパ地域(アルバニア、ボスニアヘルツゴベナ、ブルガリア、クロアチア、マセドニア、コソボ、モルドバ、ルーマニア)

実施期間： 2004年12月～(詳細の記載なし)

プロジェクト内容： 東南ヨーロッパ地域の食品安全性の強化—食品関連法規と管理に対する地域的な実践。食品安全、管理手法の確立の援助。研修会の開催、教育コースの実施。

119)ドナー機関：FAO/ESNS

実施先：アルメニア、グルジア

実施期間：2005年～2006年

プロジェクト内容：食品品質、安全管理体制の向上。

120)ドナー機関：WHO

実施先：ヨーロッパ地域

実施期間：2005年～

プロジェクト内容：ヨーロッパ地域における、国際機関間の食品安全戦略開発に関する重要要因に関する書類発表。現在検討中。

121)ドナー機関：WHO

実施先：ヨーロッパ地域

プロジェクト内容：「ヨーロッパ地域における食品と健康について、行動の新しい指針」と題する本の出版。

122)ドナー機関：WHO、FAO

実施先：ロシア

実施期間：2004年～2005年6月

プロジェクト内容：国際レベルでのサルモネラ菌の監視に関する情報ネットワークをロシア国サントペテルブルグの Institute Pasterur 内に設立(2004年)。ロシア語圏10カ国の学者より成る。2005年6月にFAOによりフォローアップが行われた。

123)ドナー機関：WHO

実施先： ヨーロッパ地域

実施期間： 2004 年～

プロジェクト内容： 2004 年にポーランドにて、中央、東、東南ヨーロッパ 17 カ国の疫学者、微生物学者による国際レベルでのサルモネラ菌の監視に関するセッションが行われた。2004 年 5 月にワルシャワの食品衛生センターが中央、東、東南ヨーロッパ地域の教育センターとして指定された。スロベニアが自国の食品由来の疾病による影響の研究を(同センターに)要請した。

124)ドナー機関： WHO

実施先： ヨーロッパ地域

実施期間： 2004 年

プロジェクト内容： SIGHT(the Summary Information on Global Health Trends)というデータベースをオンライン上に作成。ヨーロッパの食品の化学汚染物質のデータを記載。

125)ドナー機関： WHO、INRA (the National Institute for Agronomic Research of France)

実施先： フランス語圏諸国

実施期間： 2004 年 5 月

プロジェクト内容： フランス語圏諸国向けに健康に関する研修会をパリにて行った。

126)ドナー機関： FAO

実施先： クロアチア

実施期間： 2003 年 4 月～2005 年 6 月

プロジェクト内容:付加価値商品の多様化、環境に合わせた農業システムの承認。
有機など特別品質の農業製品の援助。認証、製造、研究要件
の国としての capacity の向上。

127)ドナー機関: FAO/ESNS

実施先: トルコ

実施期間: 2003年4月～2005年5月

プロジェクト内容: 食品品質と安全性確立の強化。監視と管理システム、リスク分
析、リスク管理、緊急警告体制、食品認証体制、ネットワークに
よる情報伝達体制の強化を行った。

128)ドナー機関: FAO/ESNS

実施先: ウクライナ

実施期間: 2005年3月～2006年9月

プロジェクト内容: 食品、農産物の安全性、品質に関する研究所の能力向上。

129)ドナー機関: WHO

実施先: ウズベキスタン(2004年9月)、グルジア(2005年3月)、ロシア(2005
年6月)

実施期間: 2004年9月～2005年6月

プロジェクト内容: 食品安全に対する国際機関の相互協力に関する研修会実施。

130)ドナー機関: 各国際機関

実施先: クロアチア、ボスニアヘルツゴベナ、セルビアモンテネグロ、旧ユーゴス
ラビア(マケドニア)

実施期間: 2005年2月

プロジェクト内容：食品安全に関する研修会実施。

131)ドナー機関：WHO

実施先： アルバニア

実施期間： 2005年5月2日～6日

プロジェクト内容： 第2回 HACCP 教育セミナーの開催(食品監査官向け)。

132)ドナー機関： イタリア政府 (FAO/ESNS は実施機関)

実施先： アルバニア

実施期間： 今後実施予定(現在検討中)

プロジェクト内容： 国の食品管理体制、特に研究所レベル、の強化。

133)ドナー機関： FAO/ESNS

実施先： アゼルバイジャン

実施期間： 今後実施予定(現在検討中)

プロジェクト内容： 国の食品安全性関連の技術援助。

134)ドナー機関： オランダ政府 (FAO/ESNS は実施機関)

実施先： ブルガリア

実施期間： 今後実施予定(現在検討中)

プロジェクト内容： 食品検査官、研究所スタッフ、食品産業の専門化向け、食品安全教育センターの創設。

135)ドナー機関： FAO/ESNS

実施先： クロアチア

実施期間： 今後実施予定(現在検討中)

プロジェクト内容： Codex 関連活動の強化への援助。

136)ドナー機関： FAO/ESNS

実施先： チェコ

実施期間： 今後実施予定(現在検討中)

プロジェクト内容： 食品安全保証に関する国家政策の実施に関する中央及び東ヨーロッパの NGO 活動の援助。

137)ドナー機関： WHO/Regional Office for Europe

実施先： アルバニア、ブルガリア、ボスニアヘルツゴビナ、クロアチア、旧ユーゴスラビア(マケドニア)、グルジア、ロシア、セルビアモンテネグロ、ウズベキスタン各国の保健省

実施期間： 2004 年～2005 年

プロジェクト内容： 国の食品安全戦略の開発に関する(援助)契約締結。

138)ドナー機関： WHO

実施先： バルカン諸国

実施期間： 今後実施予定(現在検討中)

プロジェクト内容： 東南ヨーロッパにおける、食品の安全と栄養の強化。関連の技術援助。

139)ドナー機関： WHO

実施先： 中央アジア諸国

実施期間： 今後実施予定(現在検討中)

プロジェクト内容: 5 つのキーワードを使った、食品安全性の家庭への導入、ヨーロッパ健康推進スクールのネットワークを使って。

140) ドナー機関: FAO/ESNS、WHO/PAHO (Pan-american Health Organization)

実施先: アルゼンチン

実施期間: 2004 年 11 月 28 日

プロジェクト内容: 食品管理体制に関する研修会。安全性関連の技術援助。

141) ドナー機関: FAO/ESNS

実施先: メキシコ

実施期間: 2005 年 4 月 20 日

プロジェクト内容: 食品安全に関するパンアメリカ委員会第 4 回会合 (COPAIA 4) の開催。各地域での食品安全性の推進を目的とする。

142) ドナー機関: FAO/ESNS

実施先: メキシコ

実施期間: 2005 年 4 月 21 日～22 日

プロジェクト内容: RIMSA (農業、食品関連団体の相互利益を追求する省によるフォーラム) の第 14 回の開催 (援助)。WHO/PAHO の基準に準拠し、上記相互利益を追求する。

143) ドナー機関: FAO/ESNS、FAO Regional Office for Latin America

実施先: 中南米またはカリブ諸国 (検討中)

プロジェクト内容: 米州の食品分析研究所間のネットワーク (INFAL) 利用による分析力強化、研究所の質向上、capacity building。教育、国家レベルでの活動の同化を行うもの。

144)ドナー機関: WHO/PAHO

実施先: 中南米、カリブ 17 カ国よりの研究員

実施期間: 2005 年 4 月 20 日

プロジェクト内容: INFAL による食品分析の強化のための技術協力。

145)ドナー機関: FAO/ ESNS、FAO Regional Office for Latin America

実施先: ボリビア、コロンビア、エクアドル、ペルー、ベネズエラ

実施期間: 2002 年 9 月～2004 年 12 月

プロジェクト内容: 国家 Codex 委員会の管理強化。教育を行うことにより、各国の
基準の調和を図る。

146)ドナー機関: WHO (資金は AGFUND)

実施先: ボリビア、ガイアナ、ドミニカ、パラグアイ

実施期間: (記載なし)～2005 年

プロジェクト内容: 食品安全の実践。

147)ドナー機関: WHO (資金は DFID)

実施先: ホンジュラス、グアテマラ、ニカラグア、ベネズエラ

実施期間: (記載なし)～2005 年

プロジェクト内容: WHO のマニュアル「食品安全の家庭への導入」の小学校での
教育。

148)ドナー機関: FAO

実施先: ラテンアメリカ (詳細記載なし)

実施期間： 2004 年 10 月

プロジェクト内容：「ラテンアメリカ食品の組織ネットワーク(LATINFOODS)」の継続。アップデートした情報も利用可能。「第 2 回データベースと食品化学組織表の食品データ品質評価に関する電子会議」が 2004 年 10 月に行われた。

149)ドナー機関： FAO2 部門(ESNS、Fish Utilization and Marketing Service)

実施先： アンティグアバーブーダ

実施期間： 2004 年 1 月～2005 年中ごろ

プロジェクト内容：魚の管理と安全性の強化。輸出用海鮮食物の検査認証の援助、食品分析の教育、食品管理研究所の研究能力の向上を行う。

150)ドナー機関： FAO 数部門(AGPS(Seed and Plant Genetic resources service)、AGST(the Agricultural and Food Engineering Technologies Service)、その他)

実施先： アルゼンチン

実施期間： 2003 年 3 月～2004 年 11 月

プロジェクト内容：遺伝子組み換え生物(LMOs)の収穫後の管理に関する capacity、インフラ、物流の評価。バイオセイフティに関するカタルヘナ議定書の 18 条 2a)の適応に関する戦略の検討。

151)ドナー機関： FAO

実施先： ベリーズ

実施期間： 2005 年 4 月～2006 年 3 月

プロジェクト内容：生物テロに対する措置に関する体制強化。法整備、措置実行の援助を行う。

152)ドナー機関: FAO/ESNS

実施先: エクアドル

実施期間: 2004年7月～2005年12月

プロジェクト内容: コーヒーのOTA付着の防止。OTAの健康、(製品のダメージによる)経済的損害を認識することからはじまり、HACCP基準による管理の教育。国家プランに反映されることが期待される。

153)ドナー機関: FAO

実施先: グレナダ

実施期間: 2004年3月～2006年4月

プロジェクト内容: スパイスの品質と安全性の向上。収穫、収穫後の取り扱い、加工の近代化、品質保証機能の向上、副産物の加工能力の向上を行った。

154)ドナー機関: FAO

実施先: ガイアナ

実施期間: 2002年5月～2004年10月

プロジェクト内容: 食品管理体制の強化。関連法案の改善、国内食品基準の国際基準への準拠。

155)ドナー機関: FAO/ESNS

実施先: ハイチ

実施期間: 2004年12月～2005年12月

プロジェクト内容: 農学、獣医学の研究施設の分析能力のリハビリ。

156)ドナー機関: FAO/SLAC(詳細記載なし)

実施先: ジャマイカ

プロジェクト内容: 国内 Codex 委員会の設置の援助。今後はその活動についても援助予定。

157)ドナー機関: FAO/ESNS 及び Regional Office for Latin America

実施先: パラグアイ

実施期間: 2002 年 10 月～2004 年 7 月

プロジェクト内容: 国内 Codex 委員会のワーク及び Codex の重要点のサポート。これにより、政府と民間業者、消費者の結びつきを進め、国内食品基準と Codex 基準の調和を進め、Codex とのウェブ上での情報交換を進めることが出来る。

158)ドナー機関: FAO/ESNS 及び Sub-regional Office for the Caribbean

実施先: スリナム

実施期間: (記載なし)～2006 年 1 月

プロジェクト内容: 国内食品管理システムの強化。教育、研究機関の設備の最新化、国内 Codex 委員会のサポートを行う。国際基準に則すべく国内法規、基準を改定すること、最新品質保証や HACCP 基準に合った食品監査への改善が期待される。また、第一次農産物と加工食品の汚染の監視能力の向上、食品安全や Codex 推薦基準の適合に対するアクションも期待出来る。

159)ドナー機関: FAO/ESNS

実施先: アルゼンチン

実施期間: 今後実施予定(現在検討中)

プロジェクト内容: マイコトキシン除菌と制御に対する統合プログラムの援助。

160) ドナー機関: FAO/ESNS

実施先: アルゼンチン

実施期間: 今後実施予定(現在検討中)

プロジェクト内容: ブエノスアイレス市に対する食品衛生や栄養に関する援助。

161) ドナー機関: FAO

実施先: ドミニカ

実施期間: 今後実施予定(現在検討中)

プロジェクト内容: コーヒー製品の開発に関する援助。

162) ドナー機関: FAO/Sub-regional Office for the Caribbean(資金は International
(?) Development Bank (Inter-american Development Bank の意味と思われる)
の融資 DR-0138 による)

実施先: ドミニカ

実施期間: 今後実施予定(現在検討中)

プロジェクト内容: 国内食品管理システムの強化。

163) ドナー機関: FAO、Consumers International-Latin american Regional Office (詳細記述なし)

実施期間: 今後実施予定(現在検討中)

プロジェクト内容: Latin American consumer organization における capacity building。

164)ドナー機関: FAO(と思われる、記載なし)

実施先: ニカラグア

実施期間: 今後実施予定(現在検討中)

プロジェクト内容: コーヒーの OTA の防止の援助。

165)ドナー機関: FAO/AGS

実施先: ウルグアイ

実施期間: 今後実施予定(現在検討中)

プロジェクト内容: 農作物の流通の強化。特に小学校向けのもの。これにより学校向け食品の安全性と品質、栄養的な品質、また子供の健康を含む、を向上する目的。

166)ドナー機関: FAO、WHO

実施先: (記載なし)

実施期間: 今後実施予定(現在検討中)

プロジェクト内容: FAO、WHO の共同米州及びカリブ諸国の食品安全に関する地域会議の準備中。同会議は第 1 回食品安全規定に関するグローバルフォーラムでの推薦及び第 123 回 FAO 評議会による指導、ラテンアメリカ、カリブ諸国向け Codex 委員会の依頼により開催される。2005 年 7 月 8 日に Codex ミーティングが開かれた。

167)ドナー機関: FAO

実施先: バルバドス及び東カリブ海諸国機構

実施期間: 2005 年 9 月～(記載なし)

プロジェクト内容: HACCP 準拠の食品監査による屋台の食品の安全性の向上。

168)ドナー機関：FAO/AGS 及び Regional Office

実施先：（記載なし、ラテンアメリカもしくはカリブ地区と思われる）

実施期間：2005 年末

プロジェクト内容：地域研修会の開催。安全性と品質に関する認識とその創設。

169)ドナー機関：FAO/ESNS、WHO

実施先：ヨルダン

実施期間：2005 年 3 月 5 日～6 日

プロジェクト内容：中近東地域の食品安全に関する会合主催。

170)ドナー機関：FAO 2 部門 (ESNS 及び Animal Production and Health Division)

実施先：チュニジア

実施期間：2004 年 9 月 20 日

プロジェクト内容：食品及び飼料の安全性に関する地域研修会。北アフリカ地域の養鶏部門の基準について。

171)ドナー機関：FAO

実施先：イタリア

実施期間：2004 年 9 月 14 日～15 日

プロジェクト内容：GCC (湾岸アラブ諸国協力理事会) 向け研修会。最新のバイオテクノロジーとその食品、農業への応用。安全性と法規に焦点をあてている。

172)ドナー機関：WHO